



常に快適に使えるパソコンの メンテナンステクニック・(3)

1. 不要ソフトを削除する際の注意事項。

不要ソフトがあった場合は、そのソフト名をクリックし、「追加と削除」ボタンを押すと「選択されたアプリケーションとその全てのコンポーネントを完全に削除しますか？」と確認のメッセージが表示されますので、「はい」をクリックします。このときに注意しなければならないのは、もし削除したものを再び使用したいときに再インストールできるバックアップ CD やインターネットからダウンロードできるかどうかを確かめてから「はい」をクリックすることです。

共用ファイルを削除するかどうかの確認メッセージが表示された場合は、「すべて保存」を選択します。これは、削除するソフトで使用していたファイルなのですが、他のソフトでも使用している可能性があるファイルなので、どうしましょうか？と聞いています。

ここで、「削除」を選択した場合で、他のソフトでも使用しているファイルだった場合、その別のソフトまでも起動しなくなってしまう。

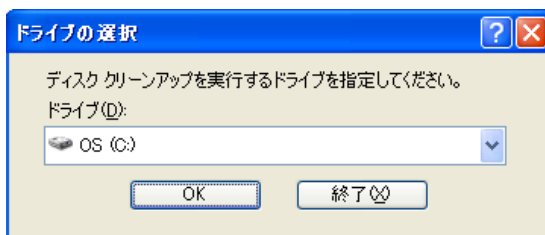
私たちのレベルでは、そのファイルが他でも使用するファイルかどうかなんてことはわかりませんから、ここでは残しておいたほうが無難です。

自分でショートカットアイコンを作成した場合は、忘れずにそれも削除しておきましょう。

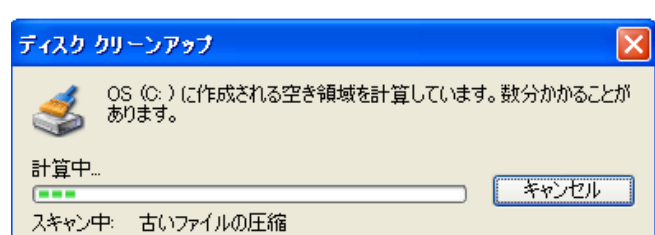
削除する場合には、必ず、「アプリケーションの追加と削除」からの削除を試みましょう！「不要なソフトを削除」しましたが、まだまだ、パソコンの中には不要なファイルが存在します。それら1つ1つを自分で探し出し、削除していくことは非常に時間が掛るし、失敗することもありますので、Windows の標準の機能として用意されている、ディスククリーンアップ機能を利用します。ディスククリーンアップとは、主にいろいろなソフトが利用してそのままにしている一時ファイルを識別して、削除してくれたりします。

まず、「スタート」ボタンを押した中にある「プログラム」⇒「アクセサリ」⇒「システムツール」と辿って行き、その中の「ディスククリーンアップ」を選択します。すると対象とするドライブの選択画面が表示されます。普通は C ドライブにインストールされていますので『OK』をクリックします。

【第1図】

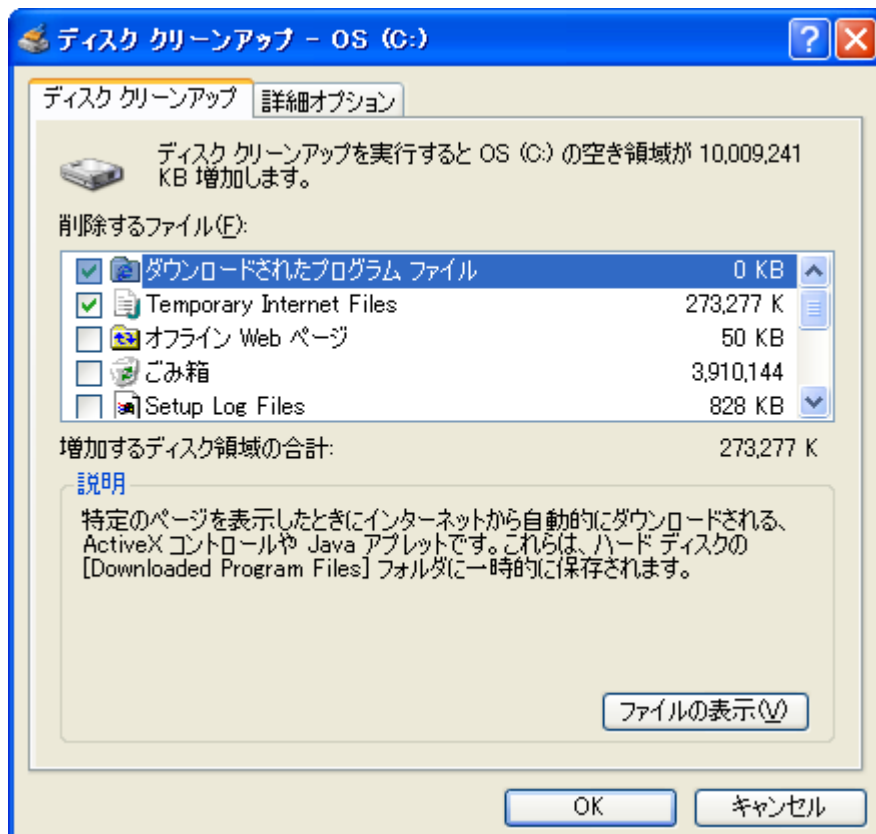


【第2図】



次に、【第3図】の画面で

【第3図】の画面でクリーンアップする項目を選んでチェックを入れます。



■ Temporary Internet Files

インターネットエクスプローラの一時的ファイルです。

其の参の1. 「[一時ファイルを削除する](#)」で削除するのと同じことです。

■ ダウンロードされたプログラムファイル

ホームページを見るために、見ている人の意思とは関係なくダウンロードされたプログラムです。

■ ごみ箱

エクスプローラなどの操作で、ファイルを削除した際に退避される領域です。

■ 一時ファイル

ソフトが動く(動いている)過程で作成される中間ファイルです。

通常は、後で自動的に消えるはずですが、何故か残ったままになっていることもあるようです。

■ PC Health の一時ファイル

システムの復元情報を作成する際に発生する一時的なファイルのようです。

■ アプリケーションのデバッグ情報

下側に表示される説明によると、何かエラーが発生したプログラムのエラー情報を記録していることこのようです。

また、この項目は対象となるファイルが存在しない場合、ここには表示されないようです。

いずれもシステム的には、不要なファイルばかりですので、定期的に削除しましょう。

次回はディスク デフラグの実施と効果について、説明します。